

2026年度 経営学部【新1年生・新2年生のみなさんへ】 MDASH（応用基礎）認定に向けた履修のお願い

経営学部では、文部科学省が推進するMDASH（数理・データサイエンス・AI教育プログラム）の応用基礎レベルの認定に向けて準備を進めています。

認定には、対象科目の「履修者数」と「単位取得者数」が重要な評価項目となります。一人ひとりの履修が、本学の認定獲得に直接つながりますので、履修を検討してもらえると幸いです。

▼対象学年： 新1年生，新2年生（新カリキュラム）

▼MDASH（応用基礎）認定の対象科目

【1年次科目】

- ・ 情報科学（全学）〔選択〕
- ・ 統計学（学部共通）〔選択〕
- ・ 人工知能概論（専門）〔選択〕
- ・ 情報リテラシーⅠ（AIを含む）〔必須〕
- ・ 情報リテラシーⅡ（数理・DSを含む）〔必須〕

【2年次科目】

- ・ プログラミング（専門／演習）〔選択〕

▼ どうして数理・データサイエンス・AIが重要なのか？

- ・ AI・データサイエンスの基礎力を確実に身につけられるため。
- ・ 卒業後のキャリアに直結するデータ分析力・AI活用力が得られるため。
- ・ 認定プログラム履修は就職活動で強いアピールポイントになるため。
- ・ 専門学習を支える基盤スキルとして有用なため。

▼最後に

令和7年度単位取得状況を確認したところ、当該科目の単位を既に取得している学生が多くいます。ぜひ積極的に対象科目を履修し、認定取得に向けた協力をお願いします。

#できない ことなんて ない

「内積」って…
なるほど！

経営学部では、現代社会に欠かせない
数理データサイエンスや AI の教育を、
文系の視点で学べる環境を整えています。

データを読み解く力や AI の知識は、
経営戦略やマーケティング、経済分野における社会情勢や、
会計の仕組みや、IT を理解するために不可欠な教養。

数学が苦手でもきっと大丈夫。あなたの学びに、
「新しいベクトル」を向けてみませんか？

**常葉大学は、文部科学省の「数理・データサイエンス・
AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」認定校です。**

経営学部では、数理・データサイエンス・AI の理解を深めるために、
基礎を学べる**情報科学**や**統計学**に加え、
人工知能概論、**プログラミング**の履修を推奨しています。

また、**社会科学の研究手法**、**マーケティング・リサーチ論**、**サービスマーケティング&サイエンス**、
経済統計、**情報ネットワーク**、**データベース**などの科目を合わせて履修することで、
数理・データサイエンス・AI を体系的に学ぶことができます。

内積：人工知能やデータ分析において、ユーザーが好む特徴をベクトルとして表現し、その類似度の計算するために利用されています。



数理・データサイエンス・AI
教育プログラム 認定制度
リテラシーレベル

